

Webの活用 3つのWWWサーバ Use of Web---Three WWW Servers---

清水俊一

Syunichi Shimizu

syun@noda-h.ed.jp

(千葉県立野田高等学校定時制)

要約：本校では3つのWWWサーバを使っている。それぞれの目的に合わせて効果的な使い方を工夫している。しかし技術的なことも含めて継続的に管理運用していくことが課題となる。

キーワード： WWWサーバ,学校,Webページ,教育

1. はじめに

本校では目的別に3つのWWWサーバを使い分けている。

- a. 公式公開サーバ
- b. 半公開サーバ
- c. 非公開サーバ

である。

以下、それぞれの使い方を紹介していく。

2. 公式公開サーバ

これは KIU のレンタルサーバスペースを借りている。<http://www.noda-h.ed.jp/>が全日制・定時制含めた野田高校のホームページである。現在は定時制のページのみで全日制的ページはまだ公開されていないが準備が進んでいるところである。(以下、このサーバを「www」と呼ぶ)

定時制のページは「学校案内」や生徒の学校生活の様子をはじめ、保健だよりやインターネットの利用に関する内容など学習活動や研究の報告とまとめなど、外部でも有益と思われるデータを載せている。

中でも最近特に力を入れているのは県の「平成 11・12 年度新しい時代の学習推進事業」として研究指定を受けた、総合な学習の時間の実践研究の記録である¹。

ただの学校紹介のために Web を使うのではなく、他でも使えるようなコンテンツがあれば積極的に公開し、互いに利用しあっていたいと思っている。

現在のところこのサーバスペースに上げたデータ量は約 12.5Mbyte になっている。

3. 半公開用サーバ

<http://www2.noda-h.ed.jp/>として運用している。サーバは FreeBSD で構築し²、校内に設置してある。DA128でKIUに接続。(以下、このサーバをwww2と呼ぶ)

WWWサーバのDocument rootに置いたコンテンツは、前述の公式公開サーバと同期している。常に同じ内容を二つのサーバに持っていることになる。これはデータのバックアップにもなるし、不正対策にもなるだろう。

新規に学校のページを公開する場合の手順は以下のようなものである。

1. 作成したhtmlデータをwww2にftpし、そのURLをメールで校長その他関係職員に連絡する。
2. 校長の許可をもらってから、インデックスページ等にリンクをつけ、wwwに転送。
3. wwwへの転送はUNIXコマンドのmirrorで行う。これは管理者権限をもった先生しかできない。

新規に作成したhtmlデータはwww2にftpした時点で外部からも見られることになる。厳密にいうと公開前のデータなのでそれでは困るという向きがあるかもしれない。

以前は、公開前のデータは全てプリントアウトして校長に提出しその都度許可をもらっていた。しかしそれでは効率も悪いし、公開するページ数が増加し、この手順では非現実的になった。

校内メーリングリストでそのページのURL(まだ他からのリンクをつけずにURLを知らないと閲覧できない状態)を連絡し、校長にはネットワークにつなげた校長室のPCで検分してもらっている。また、校長は自

¹,<http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/WEByagaku/>

²,<http://www.noda-h.ed.jp/nodatei/bsd/freebsd.htm>

宅にもインターネットを使える環境があるので、外部からも検分できることは利点である。これは他の教員も同様である。特に定時制では慌ただしく校時が過ぎるので比較的時間が自由になる自宅から閲覧し、さらに校内メーリングリストを使ってそのページについて意見を述べることも多い。

こうすることで格段にタイムロスや紙資源の無駄、手続きの繁雑さをなくすことができた。

また、www2 ではユーザーの home directry 部分も公開可能である。 .htaccess を使ってパスワード認証できる。これにより、外部に公開したくないが関係者だけで閲覧させたいページを公開できる。

他に、www2 ではデータベースエンジン・検索エンジンなどのプログラムを走らせている。

公式公開サーバ(www)は KIU レンタルのディスク領域なので、独自に必要なプログラムやデータは自前のサーバ(www2)に置く。

- ・ 『保健だよりのためのフリー画像集³』 (PostgreSQL⁴+php⁵)
- ・ 『千葉県教育機関検索⁶』 (PostgreSQL+php)
- ・ 『コンテンツの全文検索』 (namazu⁷)
- ・ 『年間行事予定表』 (cgi)
- ・ 『Web 掲示版』 (cgi)総合的な学習の時間の実践で試用

などがそれである。www のプログラム実行部分は、リンクをつけて www2 を参照させるようにしている。

これにより、かなり幅の広いサービスができるようになっている。

4 . 非公開サーバ

www2 と同様校内に設置し、FreeBSD で構築した。校内ネットのみで閲覧できるようにしてあり、校内の PC のブラウザではこのペ

³,<http://www.noda-h.ed.jp/hoken/freeimg.html>

⁴,<http://www.sra.co.jp/people/t-ishii/PostgreSQL/>

⁵,<http://www.cityfujisawa.ne.jp/%7Elouis/apps/phpfi/>

⁶,<http://www2.noda-h.ed.jp/~syun/chiba/index.php3>

⁷,<http://www.namazu.org/>

ージを home(ブラウザを起動すると最初に表示するページ)に設定してある。

主なコンテンツとしては

1. 授業で使うためのページ(リンク集や課題を Web で閲覧させて)
2. インターネット上の検索エンジン等、授業等で利用するのに有益なページへのリンク
3. 生徒用の Web 掲示版
4. 生徒の個人を特定できるような実名・写真等を掲載したページ
5. その他、即公開するには問題のありそうなページ
6. 内部のみで保管しておくデータ(ML アーカイブなど)

である。生徒にも見せたくないページは .htaccess を使ってパスワード認証し、教員だけで閲覧できるようにしてある。

ページを公開するにあたって、その内容について検討を要するものがある場合(たとえば生徒が作ったページなど)、まずこの非公開サーバにデータを置いて校内で検討し、必要な修正などを加えて www2 あるいは www に転送して公開の手続きをすることができる。

また、実際には行っていないが生徒の home directory も使えるので、生徒個人の Web ページを使わせることも可能である。外部からは閲覧できないので比較的自由に活動させられるだろう。

5 . 課題

近々、全日制の同窓会のページが公開される予定である。本校は歴史が古いだけに同窓会のページは期待が持たれている。

上述のとおり、学校の Web ページとして公開するための手順を校内内規で定めているがこれは内部の関係者からの公開手順で、同窓会や PTA のページなど、外部の関係者が本校の WWWサーバにコンテンツを載せる場合は内規には定めていない。データの保全やセキュリティ上、かなり厳しい方にポリシーを振っているが、具体的に今後どう運用していくか考えていかなければならない。

WWW サーバ全体の運用を考えてみても、技術的な側面と管理的な側面とがあり、そのどっちもないがしろにはできない。担当職員の間で、どうその仕事を継続させていくかが現在の課題である。